

# 朝倉 介護保険事業者 協議会 会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報  
Vol. 24 平成20年6月28日発行（通巻第24号）

## Vol. 24

### 「ごあいさつ」

朝倉介護保険事業者協議会  
会長 今村 順



平成20年度に入り、早3ヶ月が経過いたしました。誠に遅くなりましたが、4月26日に行われました当協議会総会にはご来賓はじめ、多くの会員の皆様方にお集まり頂き、盛会の中19年度事業決算報告並びに20年度事業計画予算、併せて役員の任期満了に伴う改選人事のご承認頂き衷心より厚く御礼申し上げます。

前年度まで夫々のお立場でご尽力いただいた役員並びに専門部会長の皆様のご努力は、確実に協議会運営の発展をもたらしており、各種会議等の効率化や迅速かつ有益な情報発信、事業者間連携、スタッフセミナーの充実化や内外問わず当協議会に対する関心度の高まりなど、身をもって感じております。

新年度体制もそうした皆様のご努力によりスムー

ズなスタートを切ることができ、5月の第1回スタッフセミナーは400名をはるかに超える参加を頂き、6月の拡大運営会議には朝倉市並びに広域連合朝倉支部の両保険者にご出席頂き、活発な意見交換会とすることができました。

私自身2期目の会長職となります。まだまだ未熟な点ばかりでございますが、会員事業所皆様の深いご理解とご協力、そして事業に対するご熱意を何よりの支えとして、新体制役員、専門部会長の皆様と共に2年間の任期を全うさせていただく所存です。会員事業所の皆様はじめ地域の様々な方々の更なるご指導ご鞭撻を切にお願い申し上げご挨拶とさせていただきます。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://www.asakura.in>

朝倉介護

検索

## 事業報告 I

# 平成20年度 朝倉介護保険事業者協議会 総会

4月26日、朝倉市のフォーシーズンにおいて、平成20年度「朝倉介護保険事業者協議会 総会」が開催されました。



■冒頭には今期で2期目となる今村会長から、会員事業者への感謝の気持ちと、今後の協議会の展望が述べられました。



■筑前町の手柴町長もお忙しい中、会場に駆けつけて下さいました。



■議長の進行の下、昨年度の事業報告をはじめ、収支決算、役員改選、平成20年度の事業計画等が議案に上りました。



■会場に集まった会員の皆さんは、真剣な表情で議案を審議し、それぞれ承認の拍手が送られていました。



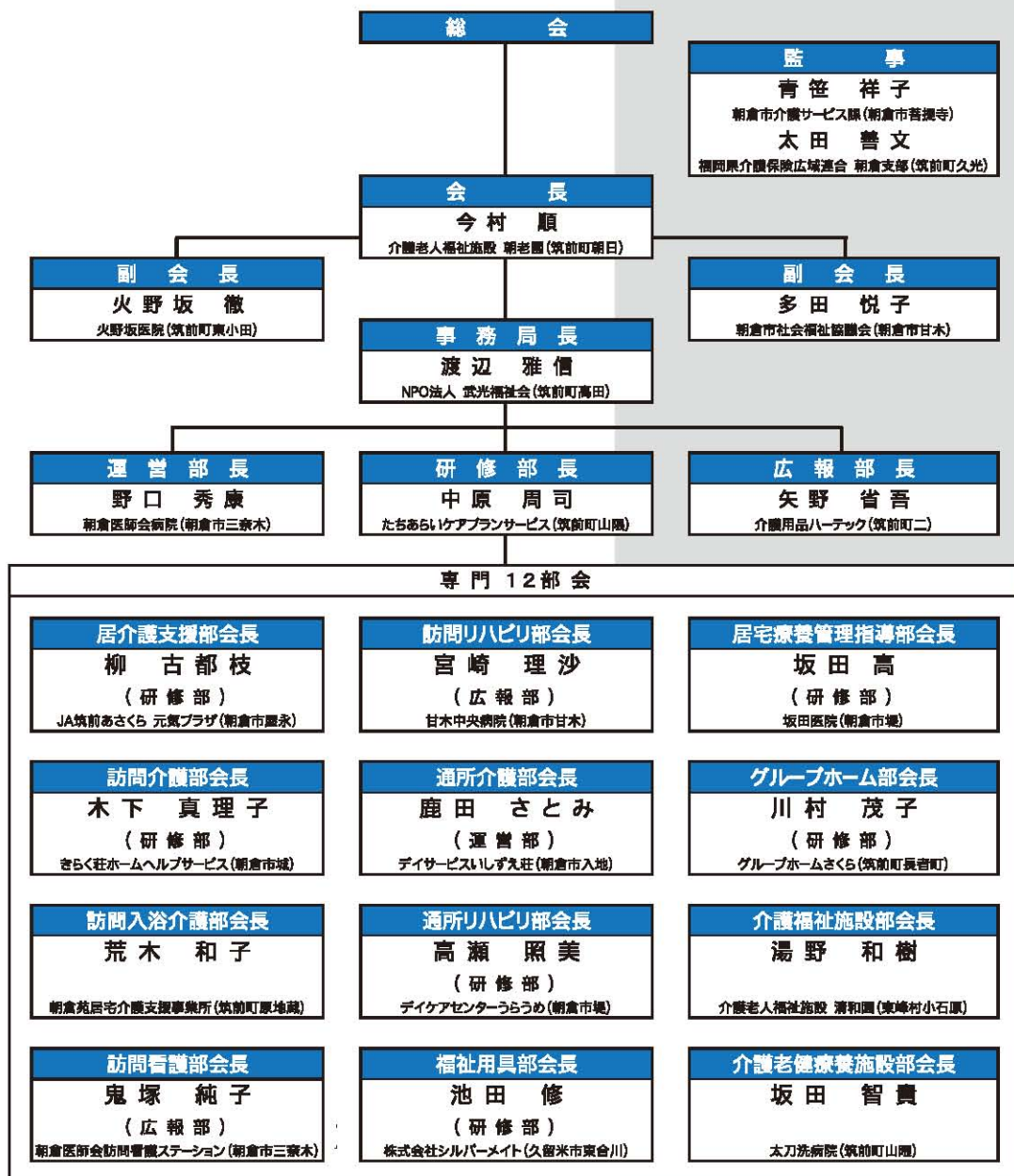
■閉会後の懇親会では、和やかなムードの中、名刺交換やイベントで親睦が図られました。

平成20年度 組織図

朝倉介護保険事業者協議会 組織図



総会の終盤には、今村会長より、平成20年度の新役員および部会長がひとりずつ紹介され、どなたも心引き締まった面持ち。会場からは惜しめない拍手が送られました。



## 事業報告Ⅱ

# 平成20年度 第1回スタッフセミナー「認知症の症状と対応」



■ 講師 菊地 雅洋 氏 (社会福祉士)  
【プロフィール】  
特別養護老人ホーム 緑風園 施設長

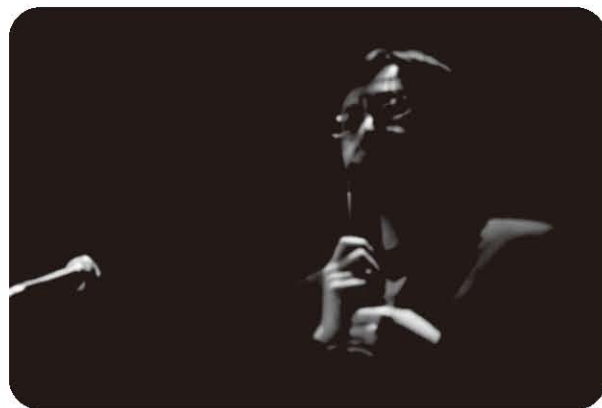
■ 5月17日、朝倉市文化ホールの中ホールで、第1回スタッフセミナー「認知症の症状と対応」が開催されました。



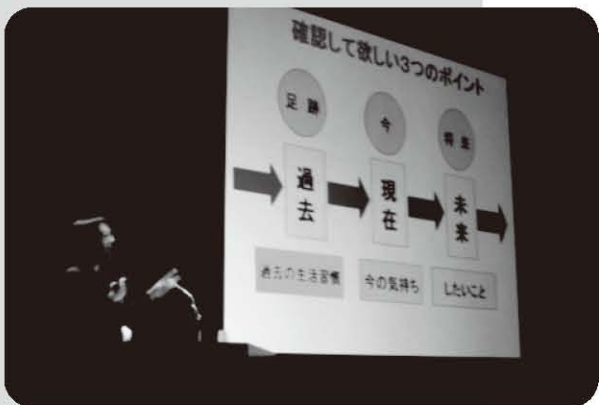
■ 講義の直前には菊地先生・関係者を交えての取材も行われました。



■ 478名收容の中ホールで立ち見が出るほどの注目を集めた講義でした。



■ 認知症介護の現場の声を会場へ訴える菊池先生の真剣な表情が来場者の気持ちをひとつにしました。



■ 今までの認知症の方への意識を見つめ直すきっかけとなる中身の濃い講演で、大きな反響を呼びました。



## 事業報告Ⅱ

# 平成20年度 第1回スタッフセミナー「認知症の症状と対応」



アンケート回答者数		333名
1	非常に良かった	236
2	良かった	74
3	普通	4
4	良くなかった	0
5	未記入	19
アンケート回答率		75.6%

スタッフセミナー参加のきっかけ		
1	協議会よりの案内	149
2	協議会のホームページ	2
3	事業所からのすすめ	159
4	知人からの進め	8
5	その他	15



■閉会の宣言では、多田副会長が感動の涙に震えながら、講演の素晴らしさを述べられました。

### セミナー後のアンケートの主な感想

●認知症の方の心理をここまで深く考え、イメージすることがなかったので、今後のケアプランに活かしていきたい。

●講演内容も資料も分かりやすく良かったです。

●表面だけ見ていた自分を先生の話の中で一つ一つ点検出来た。今後仕事や両親の介護に活かしていきたい。

●認知症の方に対する配慮不足を感じました。

●とても参考になりました。20代の頃、認知症の方より「おばしゃん」と呼ばれ腹を立てたことを思い出しました。

●DVDがとても印象的で、感動しました

●パワーポイントを使っているが、言葉や文字が多くて見にくかった。

●継続して、認知症の学習会などをしてほしい。

●家でできるリハビリについて、高齢者に多い病気について、後期高齢者の医療など社会の現状に添った事。

●講義も良いが、今回のようなDVD（映像や音楽など）から学ぶことがあると思った。

●今後もより多くの方が参加できるように案内をいただくと助かります。

## 介護スタッフリレーコラム

### 「介護現場から」

グループホームさくら 施設長 宮川 みどり

後期高齢者医療制度が始まり、医療費を納めるようになった今、それを中止だの続行だのと、また障害者の方に対しても65歳から強制加入などとテレビで放映していますが、果たして介護保険制度とは誰の為にあるのでしょうか？国が考えていることは私たちには分かりませんが、どこで・だれを・どう信じてよいのか分からない世の中ですね。

ケアをする介護の仕事にたずさわっている一員として、せめて、福祉に対する気持ち…私たちが今行っている一つひとつの事が、相手の気持ちになって考え行動できていると信じたいものです。

そうそう・・・先月のことです。おひとりの高齢者の方が表情陰しく落ち着かれないことがありました。不安だ・・・と。スタッフは同じようにケアをしているのに・・・なぜ？・・・どうして？課題を突き付けられ、さっそくスタッフ会議を開きました。いろいろな事、どんなに小さな事でも意見を出し、まず相手を思いやることから始めようということになりました。そして言葉かけ、安心して信じていただけるよう、“声かけ”をプランに入れ開始してみたのです。

1日目、2日目、3日目と行っていくうちに、その方は徐々に穏やかに過ごされるようになりました。スタッフ全員が目を見張るような変化です。スタッフの声かけが、もっと“寄り添う介護”として信じてもらえたことを、スタッフ自身が身体で感じ取ることができ、それが喜びへと変わってゆく。介護をしていて良かった、福祉にたずさわって良かったとお年寄りに教えられる今日です。私たち介護に生きる者にとって、何が一番大切なことなのか、どうすれば幸せを感じて頂けるのか・・・大変ですが頑張っていこうと思います。

### 「徒然日記」 ～ 人の心を考える ～

介護用品ハーテック K・F

今や世界的に有名になった秋葉原。その歩行者天国が突如地獄絵図となった無差別殺人事件は記憶に新しいですが、この出来事で私が一番恐ろしかったのは、それを紹介するマスコミの偏向報道です。使用された凶器はゲームの悪影響か？、容疑者はアキバ系オタクで素行に問題があった？など、事件の本質は容疑者の“心”にあるはずなのに、派遣制度の見直しが必要だ！とか、歩行者天国を封鎖しろ！だとか、マスコミが訴えるのは、おおよそ人の心に寄り添おうとする気持ちの感じられないことばかり。どうすれば犯行を食い止められたのかを論じるより、どうすれば容疑者の心を救い得たのかを考えることの方が大切な気がします。おそらく極刑は免れないと思いますが、願わくばこれがきっかけとなって、少しでも多くの方が、心に寄り添うことの必要性を感じていただければ幸いです。亡くなられた犠牲者の皆様には心からご冥福をお祈り申し上げます。

## 編集後記

はじめとした梅雨がやってきました。梅雨のイメージといえば（傘の花）（あじさい）（かたつむり）などでしょうか、、、一年の中でも「嫌い」という方が多いかもしれませんが「お天気に善し悪しはない」はずですよ～。それぞれの天気のごし方、楽しみ方を見つけてみたいものですね。

～今年はおしゃれな雨靴でも買ってみようかな～  
そうそう「福岡よかとこ.com」という観光スポットが全部動画で見れるサイトをご存知ですか？お出かけの際によかったらご覧になってみてはいかがでしょうか。

<http://www.fukuokayokatoko.com/>